

ひょうたん島川の駅ネットワーク構想 (案) 概要版

1. 趣旨

「ひょうたん島川の駅ネットワーク」は、「ひょうたん島」をとりまく1周約6kmの川の各所に船が着き、人が乗り降りできる棧橋などがある「川の駅や停留所」を整備し、ネットワーク化を図るものです。
 「ひょうたん島川の駅ネットワーク構想」は、川の駅ネットワークを活用(官民による中心市街地への人々の誘導や移動手段などの取組)することで、新たな人の流れやにぎわいの創出など、まちの活性化につなげることを目指すものです。

2. これまでの取組

○官(徳島市)の取組

- ・ひょうたん島周辺整備
親水公園、遊歩道、LED景観整備等
- ・構想策定後の取組
川の駅ネットワークの範囲が拡大
- ・近年の取組
ペイエリアへの定期運航等



○民の取組

- ・水辺の再生
清掃活動による水質改善、周遊船の運航
- ・にぎわいづくり
川の駅周辺での定期的なイベント開催
川の駅を活用したにぎわいづくり



4. 課題

○認知度や情報が不足している

- ・川の駅ネットワークを知らないという人が少なくない
- ・きっかけがないなどの理由で興味や関心を持つまでに至らない
- ・川の駅や停留所がどこにあるか分かりにくい など

○利用に課題(障害)がある

- ・各川の駅や停留所に何があるか分からない
- ・下船後、何をしたいかが分からない など

○将来を見据えた川の駅ネットワークを検討する必要がある

- ・周遊船を将来も安定的に運用するため、利用者の確保が必要
- ・周遊船の運航体制、川の駅ネットワークの推進体制の両方が大切
- ・環境に配慮した運用など持続可能性を考慮していくことが重要

3. 将来像

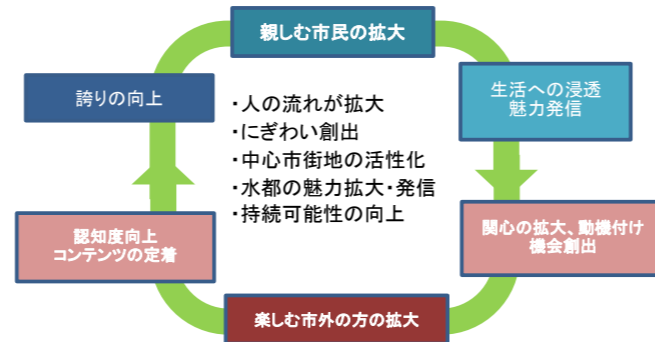
○市民に親しまれる川の駅ネットワーク

地域の宝である「川の駅ネットワーク」を今後もつないでいくため、市民の誰もが「川の駅ネットワーク」を知り、体験することにより、生活に根付き、愛着を感じられる「川の駅ネットワーク」を目指します。

○市外の方に親しまれる川の駅ネットワーク

まちの活性化に向けて、「水都とくしま」の魅力を発信し、市外の方が興味や関心を持ち、実際に体験し楽しむ人が増えることで、さらに魅力が拡大していく「川の駅ネットワーク」を目指します。

「川の駅ネットワーク」を親しむ市民が増え魅力が市外に伝わることで楽しむ市外の方が増える、楽しむ市外の方が増え市民が誇りを感じることで親しむ市民が増える、こういった好循環を創出することで、
『川の駅ネットワーク』が人の流れやにぎわいを生み出す活力のあるまちを目指します。



5. 今後の方向性

【テーマ】

- ① 誰もが知っている川の駅ネットワークづくり
- ② 誰もが楽しめる川の駅ネットワークづくり
- ③ いつまでも続く川の駅ネットワークづくり

【取組方針】

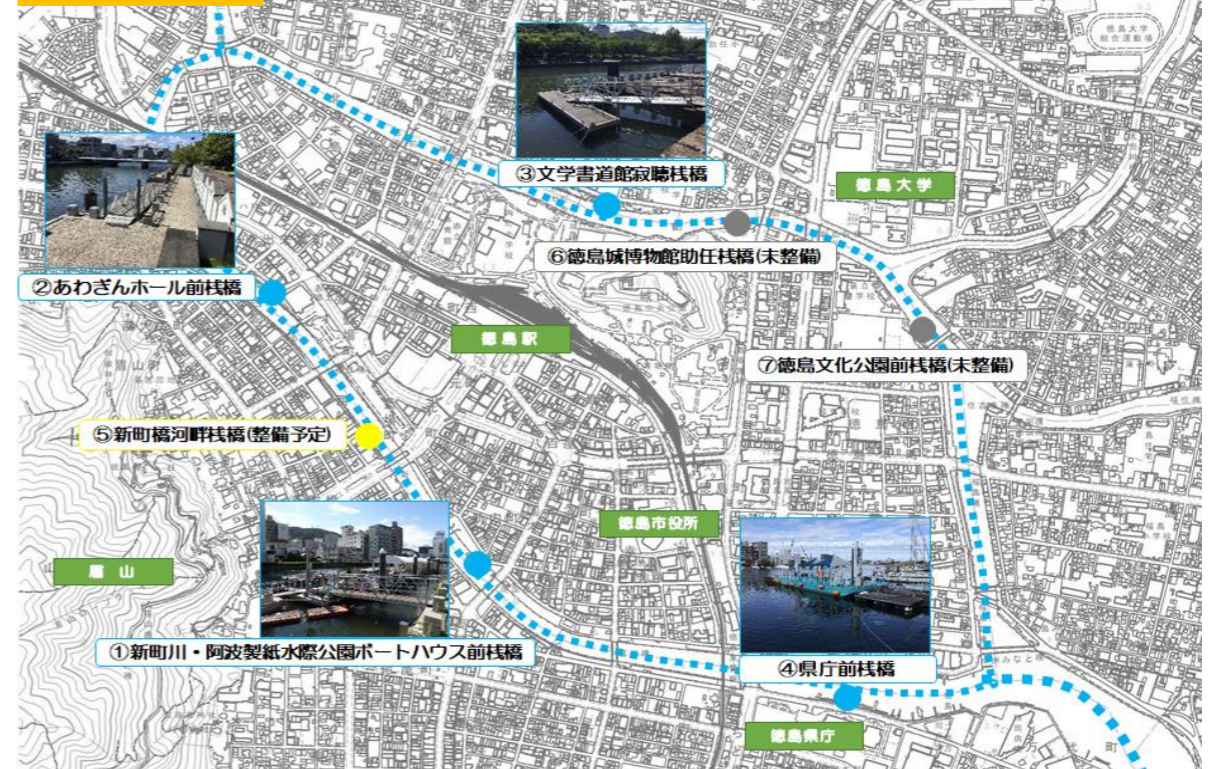
- ・情報発信の充実・強化
- ・船着場の周知等
- ・新たな楽しみ方の創出
- ・利用者への楽しみ方の提案
- ・各駅をつなぐことによるネットワークの活性化
- ・子どもの利用拡大(学校連携)
- ・環境分野との連携
- ・利用者の確保及び拡大
- ・推進体制の充実
- ・官民連携の充実

6. 構想の実現に向けて

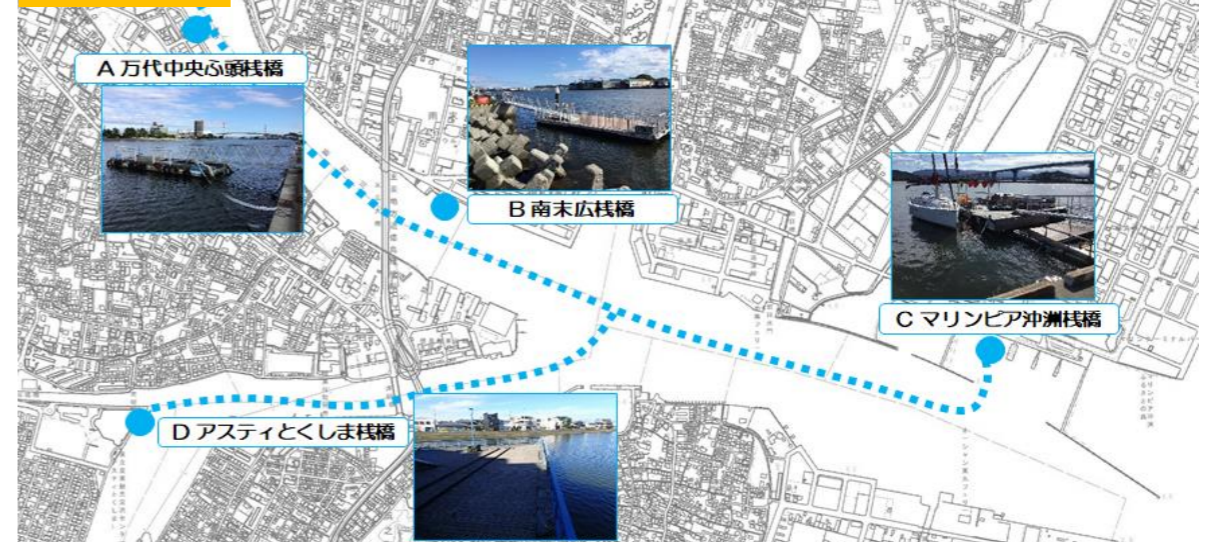
- ① 構想の共有 (市民や民間団体に一層知っていただくことが重要)
- ② 実効性のある推進体制の確立 (官民一体となった川の駅ネットワークの活発化を図っていくことが重要)
- ③ 積極的な連携 (地域間連携、分野横断的な連携、官民連携の拡大など、様々な連携が重要)

【ひょうたん島川の駅ネットワーク】

ひょうたん島エリア



ペイエリア



ひょうたん島周辺エリア

